

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年10月9日 (2008.10.9)

【公表番号】特表2005-522786(P2005-522786A)
 【公表日】平成17年7月28日 (2005.7.28)
 【年通号数】公開・登録公報2005-029
 【出願番号】特願2003-584957(P2003-584957)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

G 0 6 F 15/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/30 2 2 0 C

G 0 6 F 17/30 1 1 0 C

G 0 6 F 17/30 1 2 0 B

G 0 6 F 13/00 5 2 0 D

G 0 6 F 15/00 3 9 0

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成20年8月6日 (2008.8.6)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】特許請求の範囲
 【訂正対象項目名】全文
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ネットワークに接続された少なくとも 1 つのサーバと多数のピア・ノードとを含むアクセス制限されたリソース共有システムにおいて、2 以上のプライベート・リソース・レボジトリにわたってリソースのサーチを実行する方法であって、データデジタル画像を始めとするリソースを記憶し、且つ該リソースに関連するメタデータに基づいて該リソースをサーチするためのネットワークを該リソースは共有し、

リソース及び関連メタデータのストレージを各々のピア・ノードで維持する工程と、関連メタデータは、少なくとも 1 つのメタデータ・ボキャブラリに基づいていることと；

第 1 のピア・ノードが、サーバに、第 1 のピア・ノードに記憶された各々のリソースに関連するメタデータ・ボキャブラリと、プライベートのものとして指定された関連するメタデータ・ボキャブラリとを示す工程と；

前記サーバでの第 2 のピア・ノードからのサーチ・クエリに応じて、前記第 1 のピア・ノードによってサーバに示されたメタデータ・ボキャブラリをサーチ・クエリが使用するか否か、および使用されるメタデータ・ボキャブラリが前記第 1 のピア・ノードによってプライベートのものとして指定されたメタデータ・ボキャブラリの中にあるか否かを判定する工程；

第 1 のピア・ノードによって示されたメタデータ・ボキャブラリをサーチ・クエリが使用するが、前記第 1 のピア・ノードによってプライベートのものとして指定されたメタデータ・ボキャブラリの中にはないというサーバによる判定に応じて、サーバによりサーチ・クエリを処理する工程と；

第 1 のピア・ノードによって示されたメタデータ・ボキャブラリをサーチ・クエリが使用し、かつ前記第 1 のピア・ノードによってプライベートのものとして指定されたメタデータ・ボキャブラリの中にあるというサーバによる判定に応じて、処理のために第 1 のピア・ノードによって示されたメタデータ・ボキャブラリをサーチ・クエリが使用する工程と；

ア・ノードにサーチ・クエリを渡すか、または第 1 のピア・ノードに対するロケータを備えた第 2 のピア・ノードにサーチ・クエリを渡す工程と；

から成る方法。

【請求項 2】

特定のサーチ・クエリに応答して第 1 のピア・ノードによって生成された応答を、サーバを通じて、第 2 のピア・ノードへ経路指定する工程を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

特定のサーチ・クエリに応答して第 1 のピア・ノードによって生成された応答を、サーバを通さずに、第 2 のピア・ノードへ直接経路指定する工程を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

第 1 のピア・ノードに対するロケータを使用して、第 1 のピア・ノードに前記クエリを送ること；

第 1 のピア・ノード上での前記クエリの受け取りに応じて、マッチを求めて第 1 のピア・ノード上の記憶されたメタデータをサーチすること；及び

前記クエリにマッチするメタデータを有するリソースに対するリソース・ロケータを、第 2 のピア・ノードに返すこと；
を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

第 1 のピア・ノードが第 2 のピア・ノードにサーチ結果を直接送れるように、第 2 のピア・ノードに対するロケータと共に第 1 のピア・ノードにサーチ・クエリを送ること
を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

第 1 のピア・ノードから送られた応答を暗号化する工程を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

第 2 のピア・ノードに関連する公開鍵を使用して、応答を暗号化する工程を含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

ネットワークに接続された少なくとも 1 つのサーバと多数のピア・ノードとを含むアクセス制限されたリソース共有システムにおいて、2 以上のプライベート・リソース・レボジトリにわたってリソースのサーチを実行する方法であって、データデジタル画像を始めとするリソースを記憶し、該リソースに関連するメタデータに基づいて該リソースをサーチするためのネットワークを該リソースは共有し、

リソース及び関連メタデータのストレージを各々のピア・ノードで維持する工程と、関連メタデータは、少なくとも 1 つのメタデータ・ボキャブラリに基づいていることと；

第 1 のピア・ノードが、サーバに、第 1 のピア・ノードに記憶された各々のリソースに関連するメタデータ・ボキャブラリと、プライベートのものとして指定された関連するメタデータ・ボキャブラリとを示す工程と；

第 2 のピア・ノードからリソースに対するサーチ・クエリをサーバ上で受け取る工程と、

サーチ・クエリは 1 又は複数のメタデータ・ボキャブラリをその中で使用していることと；

前記第 1 のピア・ノードによってサーバに示されたメタデータ・ボキャブラリをサーチ・クエリが使用するか否か、および使用されるメタデータ・ボキャブラリが前記第 1 のピア・ノードによってプライベートのものとして指定されたメタデータ・ボキャブラリの中にあるか否かを判定する工程と；

サーチ・クエリ中で使用されるメタデータ・ボキャブラリが前記第 1 のピア・ノードによってプライベートのものとして指定されたメタデータ・ボキャブラリの中にある場合に、第 1 のピア・ノード上でサーチ・クエリを実行する工程であって、サーチ・クエリの実

行は、サーチ・クエリとマッチするリソースに対するリソース・ロケータのリストを生成することと；

サーチ・クエリ中で使用されるメタデータ・ボキャブラリが第 1 のピア・ノードによって示されたメタデータ・ボキャブラリ内に含まれるが第 1 のピア・ノードによってプライベートのものとして指定されたメタデータ・ボキャブラリの中にはない場合に、サーバ上でサーチ・クエリを実行する工程であって、サーチ・クエリの実行後、サーバは、サーチ・クエリとマッチするリソースに対するリソース・ロケータのリストを第 2 のピア・ノードに送ることと；
から成る方法。

【請求項 9】

第 1 のピア・ノードから送られた応答を暗号化する工程を含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

第 2 のピア・ノードに関連する公開鍵を使用して、応答を暗号化する工程を含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記処理は、サーチ基準とマッチする前記画像に対する画像ロケータのリストを作成することである、請求項 1 に記載の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0007

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0007】

本発明は、アクセス制限されたリソース共有システムにおいて、2以上のプライベート・リソース・レポジトリにわたってリソースのサーチを実行する方法である。システムは、ネットワークに接続された、少なくとも1つのサーバノードと多数のピア・ノードとを含んでいる。データデジタル画像を始めとするリソースが、リソースに関連するメタデータとマッチするタームを含むクエリの発行により基づいて、ノードからサーチされる。方法は、リソース及び関連メタデータのストレージを、各々のピア・ノードに維持する工程を含む。関連メタデータは少なくとも1つのメタデータ・ボキャブラリに基づいている。第 1 のピア・ノードが、サーバに、第 1 のピア・ノードに記憶された各々のリソースに関連するメタデータ・ボキャブラリと、プライベートのものとして指定された関連するメタデータ・ボキャブラリとを示す。サーバでの第 2 のピア・ノードからのサーチ・クエリに応じて、第 1 のピア・ノードによってサーバに示されたメタデータ・ボキャブラリをサーチ・クエリが使用するか否か、および使用されるメタデータ・ボキャブラリが第 1 のピア・ノードによってプライベートのものとして指定されたメタデータ・ボキャブラリの中にあるか否かを判定する。第 1 のピア・ノードによって示されたメタデータ・ボキャブラリをサーチ・クエリが使用するが、第 1 のピア・ノードによってプライベートのものとして指定されたメタデータ・ボキャブラリの中にはないというサーバによる判定に応じて、サーバによりサーチ・クエリを処理する。第 1 のピア・ノードによって示されたメタデータ・ボキャブラリをサーチ・クエリが使用し、かつ第 1 のピア・ノードによってプライベートのものとして指定されたメタデータ・ボキャブラリの中にあるというサーバによる判定に応じて、処理のために第 1 のピア・ノードにサーチ・クエリを渡すか、または第 1 のピア・ノードに対するロケータを備えた第 2 のピア・ノードにサーチ・クエリを渡す。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0043

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 4 3 】

ステップ 2 2 0 で、ピア・サーバ 1 4 は、プライベート・メタデータ 2 2 をサポートすることを示し、且つボキャブラリ 8 4 がピア・サーバ 1 4 に識別されていない、すべてのピア・ノード・レコードの位置を特定する。ピア・サーバ 1 4 は、サーチ・クエリ中にあるプロパティとマッチするプロパティを含むボキャブラリ 8 4 を有するピア・ノード 1 6 に対するレコードを見つけた場合、ステップ 2 1 8 で、ピア・サーバ 1 4 はそれらのピア・ノード 1 6 の各々をポイントする各ピア・ノード・ロケータを作成し、クエリをそのピア・ノード・ロケータ中に埋め込む。